

〔本朝麗藻〕暮春於右尙書菅中丞亭同賦閑庭花自落以心爲韻

江以言江氏大

〔古事談六亭宅諸道〕江帥匡房大江者極相人也

〔作文大體〕口云詩菅家江家二流在之是則本朝兩家也

菅家菅原氏御事也江家江氏之事也云大江氏是也

〔大和物語上〕野大貳好古野すみとも原藤がさわぎの時うての使にさ、れて少將にてくだりけ

る

〔天和物語上〕良少將義方兵衛佐なりける比監の命婦になむすみける

〔紫式部日記〕清少納言原氏清こそしたりがほにいみじう侍りける人さばかりさかしたちまなか

きちらしてはべるほどもよくみればまだいとたへぬことおほかり

〔先哲叢談續編三〕原雲溪

雲溪小笠原氏修爲笠原氏後再修爲原氏近世自物護園祖服赤羽元輩以李王修辭說風

靡一時鼓動之士效其所爲斷截複姓修爲單者極多矣至今操觚之徒概以爲其事自正德享祿之間

始矣其實既在元祿寶永之間以雲溪爲之發端

〔先哲叢談六〕物茂卿

署三河物茂卿者其先三河荻生人物部守屋後也

〔先哲叢談七〕藤煥圖中號東野

東野本姓瀧田氏幼爲孤乃來江戸養於安藤氏因冒其姓又修爲藤

〔先哲叢談後編七〕井金峩

名立元字純卿中井上氏自修爲井

〔先哲叢談續編八〕孔生駒